



写真は、去る十一月三日の米まつりの広場の模様です。なれない手つきでホウレンソウを袋につめてるおじさんとそれを見守る二人のおばさん、「こりや新鮮だよ」、「ふむ、ふむ……」

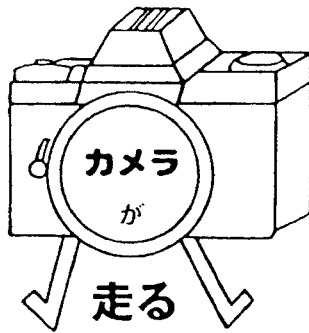


広場の一角で豚汁のサービス、「フー・フーおいしそう」「おじさんこっちにも入れて」秋晴れの下、豚汁のコーナーは大盛況でした。



秋の一日

「文化の日」にカメラを持って市内を歩いてみました。



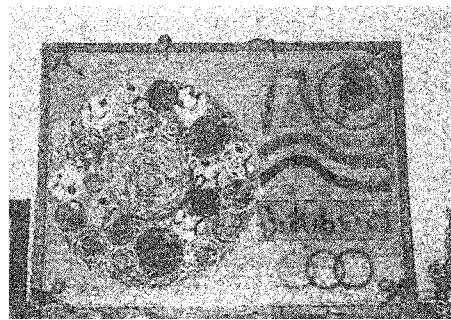
ペーパークラフトで

かいじ国体マーク

十一月二日から三日間、文化会館で行われた市文化祭に都留タバコ組合婦人部（代表天野千代子）が制作したペーパークラフトの壁掛けが出品されました。

このペーパークラフトは、

かいじ国体のシンボルマークと大きな帽子の中に小さな帽子をいくつもいくつも混ぜたとても手のこんだ作品です。約千三百個のタバコの包みと封かん紙六百五十枚、これだけの材料を集めるのにもかなりの日数がかかったということです。特に封かん紙は、毎年正月に発売される記念タバコのものを使用したため、



数年かかって集めたそうです。製作は、天野さんの自宅で行われ夕方六時頃から遅い時には深夜までかかって、約十日間かけて完成させました。製作者の一人は「タバコの包み紙は、厚いため湯につけて柔らかくしてから加工する。この作業が一番大変でした。」と話してくれました。

写真は桂川祭から。

校舎正面ホールにて歓迎の演奏会、クラリネットを手にした美女六人の演奏に、つつい足も止りがち、大学は一日じゅう若い熱気でムンムンしていました。



写真は第七回都留市合唱祭から。（谷一小児童）大きく口を開けて秋のすがすがしい空気をいっぱい吸って歌いました。

